



TOUN

歴史×技術×機能

文化の交差点から生まれた
奈良のスニーカー「TOUN」

TOUN CARAVAN in CIBONE
2021年12月11日(土)ー26日(日)

履物文化の歴史で知られ、古くは城下町、文化の交差点として栄えてきた土地、奈良県大和郡山(やまこおりやま)市。その地で70年間にわたり靴づくりを行ってきたシューズメーカー・オリエンタルシューズが革靴づくりで培った技術と、奈良出身のグラフィックデザイナーTAKAIYAMA inc.の山野英之氏によるプロダクトデザインから生まれた奈良のスニーカー「TOUN(トウン)」。アイレットが3つ、5つ、7つと履物の歴史を辿るようにデザインされた3型のスニーカーから、新色がリリースします。

デザインコンセプトは「時の流れから学び、新しいものを生み出す“New nostalgic(ニューノスタルジック)”」。歴史・技術・機能といった視点から、製造業や手工業から価値の連鎖を生み、文化の多様性を紡いでいくために、奈良でつくること、考えること、かたちにすることを大切にしています。

新色の販売に合わせ12月11日(土)ー12月26日(日)、CIBONEでローンチイベントを開催。ぜひお立ち寄りください。

About

TOUN

TOUN(トゥン)は、「東雲」明け方の空、あけぼのの意。闇から光へと移行する夜明け前に茜色にそまる空を意味する。

※沓(とう/TOU)は、奈良時代における「足をいれるもの」全般を指す言葉。奈良の革靴メーカー・オリエンタルシューズの技術を用い、奈良出身のグラフィックデザイナー〈TAKAIYAMA inc.〉の山野英之氏を迎え、奈良のスニーカーとして2020年スタート。

Brand Concept

時の流れから学び、 新しいものを生み出す「New nostalgic」

TOUNは古くから革靴の産地であった、奈良県中部エリアで生まれました。時の流れから学び、新しいものを生み出す「New nostalgic」をコンセプトに、歴史×技術×機能といった視点からデザインされています。奈良でつくること、考えること、かたちにすることを大切にブランドです。

Technology

1. 柔らかい履き心地

表革に厚めのスエードレザーを使用することで強度を確保し、裏革を最小限におさえることにより、足あたりが柔らかくなっています。表裏の二重構造よりも革がなじみやすいので、吸い付くような履き心地が生まれます。

2. 歩きやすさ

ホールド感を重視した木型は、しっかりと足を捕まえた状態を生み出し、靴の中で足をブレさせません。またアッパーとソールの間に内蔵するシャンクと呼ばれるスチールプレートが安定性をサポートします。足ブレがなく安定感のある靴は、歩きやすいのです。

3. 快適さ

インソール表地の豚革は、軽量で通気性や吸湿性にも優れているため、夏でも蒸れにくく清潔に履くことができます。下地には弾力性のあるスポンジ素材を採用しているので地面の固さが吸収され、足裏への負荷を分散してくれます。そのため長時間履いても疲れにくくなっています。

4. 丈夫で長持ち

アッパーとソールをサイドマッケイという製法で縫い付けているので、屈曲部でも剥がれません。ソールの交換も可能ですので、長く履いて足に馴染んだ履き心地を継続的に楽しんでいただくことができます。



3 Models + New Colors

スニーカーの歴史を辿る3型のスニーカーに 「Green」と「Camel」のパターンが登場

Three

履き物の原点とも言える「包む」靴から着想を得たデザインは、特徴的な形状を生み出します。
一枚の革に、切れ込みを入れただけのシンプルな構造は、TOUNのなかでも、最も柔らかな履き心地を体感いただけます。



Three Green



Three Camel

Five

スニーカーのはじまり、デッキシューズをモチーフにしたデザイン。threeに比べアイレット(靴紐の穴)を増やすことで、フィット感を高めています。柔らかさと、フィット感のバランスが良いモデル。



Five Green



Five Camel

Seven

スニーカーをトレンド化させた競技用シューズを手本に、より足へのフィット感を高めたモデル。(パッシュなど)TOUNのなかで唯一のミドルカット。サイドを補強するパーツにより、しっかりとした歩き心地と、耐久性を備えています。



Seven Green



Seven Camel



TOUN CARAVAN in CIBONE

新色のお披露目とともに、東京・青山のCIBONEにてPOP UP EVENTを開催します。会場にはデザイナーの山野英之がTOUNのスニーカーからオリジナルパターンデザインを制作。そのグラフィックで、壁面にアートワークや展示仕器を展開します。

会期 | 2021年12月11日(土) - 12月26日(日)

開館 | 11:00 - 20:00 会場 | CIBONE

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-10-1 GYRE B1F
TEL 03-6712-5301

Design

山野英之 Hideyuki Yamano

グラフィックデザイナー。奈良県生まれ。京都工芸繊維大学大学院修士課程修了。2009年、デザイン事務所 TAKAIYAMA inc. 設立。書籍、広告、ブランドデザイン、建築サインなど、平面から空間まで、グラフィックデザインを軸に活動。個人の制作として「クソバッジ」「B.C.G」「UHS-a」など。「YAMANO MAX」と題した企画では、スポーツブランドのカスタムスニーカーを190人分を製作。「TOUN」では初めてのスニーカーデザインを担当し、グラフィックデザイナーとしての見地から、ストーリーやカラーリングなど、奈良をテーマに、ありそうでない独自のプロダクトを目指しました。

▶ takaiyama.jp

Produce

合同会社オフィスキャンプ OFFICE CAMP llc.

街から地方へ移り住んだクリエイターが集まりできたクリエイティブファーム。中山間地域を活動の中心として、日本全国をフィールドにしています。地方から中央へ、情報や物の流れを生み出していきます。企画・執筆・編集・撮影・出版・グラフィックデザイン・WEBデザイン・建築デザイン・スクール・各種ワークショップなど様々なクリエイティブを手がけています。「TOUN」プロジェクトは、地元企業と地域クリエイティブファームが協働し、外部のクリエイティブをつなぐことで、新たなカルチャーを生みます。プロダクトと情報を産地から発信することで、単なる購入～所有だけではない、価値共有までを含めた新たな体験です。

▶ officecamp-nara.com

Company

オリエンタルシューズ株式会社 ORIENTAL SHOES co.,ltd.

70年以上にわたって靴づくりを行ってきたオリエンタルシューズ。奈良県大和郡山市にある自社工場では、グッドイヤー、ステッチダウンなど、様々な製法でドレスシューズからスニーカーまで幅広い靴種を製造しています。国産でヨーロッパの靴に負けない靴づくりを目指し、クオリティの高い紳士靴を提案しています。2020年、既存の流通以外の新たな販路を模索し、オリジナルのスニーカーブランド「TOUN」がスタート。アッパーレザーからインソールまで素材選択や、緻密なパターン設計など、国産シューズメーカーならではのアプローチでプロダクトの製造を担当。

▶ www.oriental-shoes.co.jp

Press contact

daily press(デイリープレス) 川村美帆 | tel. 03-6416-3201

mail. mihokawamura@dailypress.org